

日本栄養改善学会東海支部会 第2回実践栄養学研究セミナー

時下、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、東海支部会では、来年の学術総会の準備企画として、標記のセミナーを実施いたします。今回は、栄養改善に関連する実践的研究活動を充実させるために、栄養疫学の考え方・手法を用いて論文としてまとめるスキルを学習します。素朴な質問や同じ分野の会員同士の意見交換が、気楽にできることを期待して、講義と演習を組み合わせたプログラムです。皆様、お誘い合わせの上、多数ご参加ください。

◆ **日時**：平成24年3月4日（日）10時～13時15分

◆ **会場**：[中部大学名古屋キャンパス](#)（地図 [次ページ](#)）[名古屋市中区千代田 5-14-22](#)

（JR中央本線「鶴舞」駅名大病院口（北口）下車すぐ。地下鉄「鶴舞」駅下車北へ約100m）

◆ **参加費**：2000円 資料代 定員50名

◆ **目的**：栄養改善に関する実践活動を計画・実施・発表する

◆ **対象**：日本栄養改善学会東海支部会員

特に、地域や職域、臨床、学校などの現場で活躍する管理栄養士等

申込み：方法1 ←左のリンクまたはQRコードから、氏名、所属、連絡先メールアドレス、栄養改善学会会員番号、演習コースの希望 A・B等をお知らせください。

東海支部会 HP <https://sites.google.com/site/tokaieiyukaizen>

方法2 下記のQRコードを読み取れば、携帯電話から申込みができます（SOFTBANK, docomo 確認済み）

後日「参加票」をメールで送ります。当日はこの「参加票」をお持ちの上、お越し下さい。

申込期限：平成24年1月15日

（先着順で、定員になり次第、締め切らせていただきます。）

問い合わせ：日本栄養改善学会東海支部会セミナー担当幹事：

maruyama@kinjo-u.ac.jp

甲田道子（中部大学）、丸山智美（金城学院大学）



実践栄養学研究セミナープログラムの詳細

- 10:00 挨拶、趣旨説明
10:10 講義 90 分（質疑応答を含む）
大阪市立大学大学院 生活科学研究科 食・健康科学講座
教授 由田克士先生
11:40 休憩 15 分：ブレイクタイム 飲み物スナック程度
11:55 演習 50 分 実践栄養学分野で用いる統計（ワークショップ形式）
【Aコース】 t 検定
【Bコース】 カイ 2 乗検定
12:45 総括 20 分、フィードバックアンケート 5 分
構造化要旨の重要性、スキルアップの必要性、まとめ
13:10 終了 解散

講義の主旨

実践栄養学分野の論文を書くにあたっての、研究仮説の作り方、目的、方法、結果、考察までの筋道など、論文の構造化手順として学びます。具体的な事例も検討します。

統計学演習（ワークショップ形式）

統計の演習は、コンピュータを用いたワークショップ形式で行います。教材は、下記の公開済みホームページです。必要な file は、USB メモリで配布する予定ですが、印刷物は準備しません。可能な限りパソコン持参してください。A,B いずれかのコースを選択してください。

教材とする URL

鹿児島大学 <http://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~mediadm/stat/>

◆◇◆ お知らせ ◆◇◆

第 59 回日本栄養改善学会学術総会 <http://www.kaizen59.jp/index.html>

期 日 平成 24 年（2012 年）9 月 12 日（水）～14 日（金）

開催地 愛知県名古屋市・名古屋国際会議場

演題募集期間：平成 24 年 4 月 5 日（木）～5 月 8 日（火）12 時まで

※詳細は栄養学雑誌 Vol. 70、No. 1（平成 24 年 2 月発送予定）及び本ホームページをご参照ください。